



～後期が始まって～

校長より

後期が始まりました。後期になって、何か変わったことはありますか？きっと、「何も変わってないよ」言う人がほとんどだと思います。

では、変えましょう。自分の力で何を変えてみようか。どう変えてみようか。それを考えてみましょう。私は、最近本を読んでいないので、今日から1ページでもいいから本を読む自分に变えます。

さあ、皆さんは何をどう変えますか？

あいさつできなかった人が、あいさつをしてみるとか、字を雑に書いていた人が、丁寧に書くようにしてみるとか、すぐにできそうなこともあるでしょう。他にも、掃除で、自分の仕事だけをしていた人が、「まだできることはないかな」と考えて、他の人の手伝いをするようにする。授業で、先生に言われてから考えるのではなく、「自分は思うだろう」と考えて、友達に伝えるようにする。休み時間に、いつも同じ友達と遊んでいた人が、「一緒に遊ぼう」と誰かに声をかけてみる。ちょっと難しいこともあるかもしれませんが、一人一人、変えられることはたくさんあります。

一人が変わると、まわりの人も少しずつ変わります。それが集まると、クラスが変わり、学校も変わります。

後期は、自分で何を変えるのかを一つ決めて、挑戦してみましょう。そして、皆さん一人一人の挑戦を集めて、今よりもっとすてきな龍ヶ崎西小にしていきましょう。

仲間とともに成長する後期へ

後期は子供たちの大きな成長の糧となる行事が目白押しです。10月には子供たちが心待ちにしている「西の子みのりんピック2026」をはじめ、6年生の修学旅行などが予定されています。一つ一つの行事を通して、仲間と力を合わせることの尊さや達成感を味わわせたいと考えております。

今年度から始まった「縦割り班活動」も少しずつ軌道に乗り、いよいよ後半戦を迎えます。これまでは6年生が下級生に掃除の仕方を一生懸命教えたり、縦割り遊びで一緒になって楽しんだりする頼もしい姿がたくさん見られました。その温かいバトンを今度は5年生が受け継ぎ、次のリーダーへと成長していく番です。このような日常の異学年交流を通して、思いやりの心が順調に育まれ引き継がれていくことを期待しています。

また、11月には「地域合同防災訓練」、1月には「西の子応援キャンペーン」を実施する予定です。これらの行事は西コミュニティ協議会の皆様が、毎年趣向を変え、工夫を凝らしたプログラムを準備してくださっています。こうした機会を通して、地域の方々との心の通う交流も大切にしていきたいと考えております。

そして後半に向かうにつれ、6年生を送る会や学年のまとめに向けた活動が増え、6年生にとっては集大成となる卒業式を迎えます。行事の一つ一つが子供たちにとってかけがえのない思い出と成長の足跡となるよう、教職員一同温かく支援してまいります。保護者や地域の皆様には、後期も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。